

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第10週の発生動向

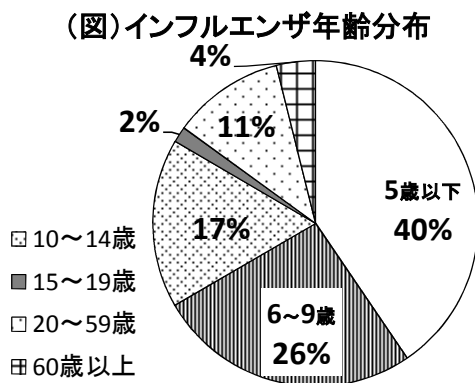
定点医療機関からの報告総数は1,635人(定点あたり37.2)で、前週比91%と減少した。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

【インフルエンザ】

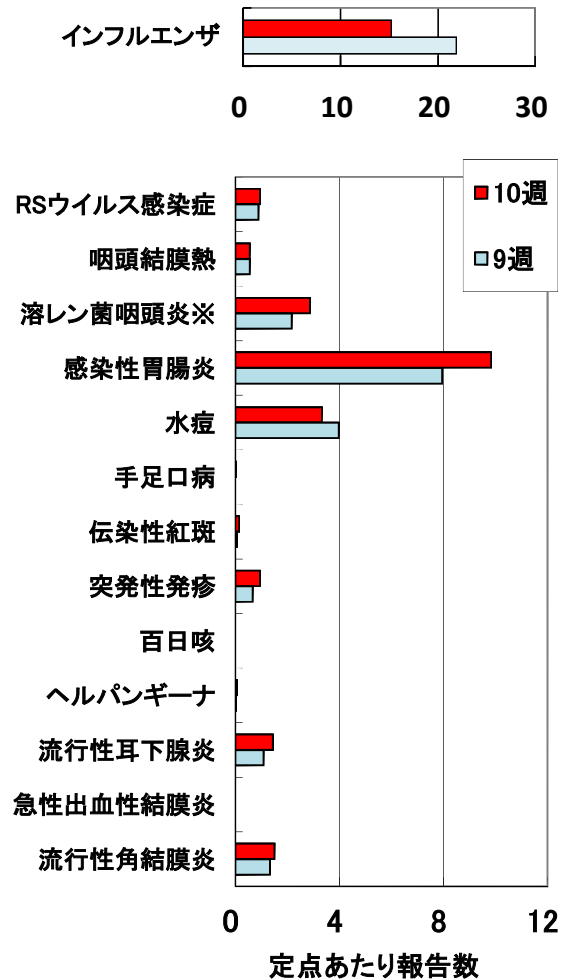
・報告数は899人(15.2)で前週比70%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値(17.4)の約9割である。延岡(29.1)・小林(25.8)保健所からの報告が多い。年齢分布を(図)に示す。



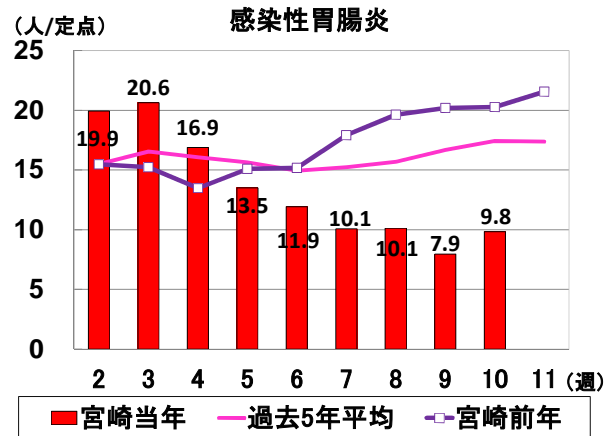
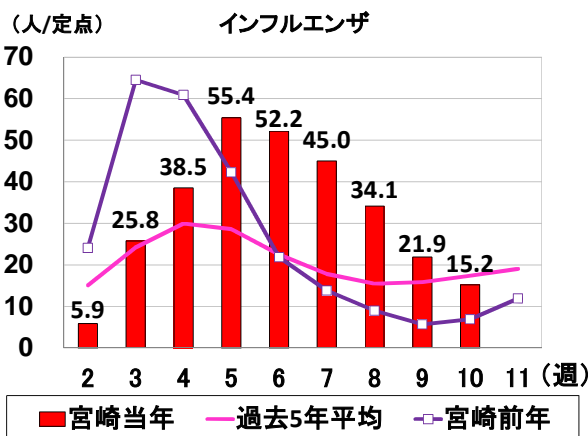
【感染性胃腸炎】

・報告数は354人(9.8)で前週比124%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(17.4)の約6割である。小林(20.3)・日南(14.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳で全体の約半数を占めた。

《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：高鍋（1人）保健所から報告された。患者は5歳で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

○クラミジア肺炎：高鍋（1人）保健所から報告された。患者は5歳で、病原体は *Chlamydothila pneumoniae* であった。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(20.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	流行性耳下腺炎(9.0)

流行警報開始基準値：感染性胃腸炎(20.0)、流行性耳下腺炎(6.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核7例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	30歳代	無症状病原体保有者	—
			90歳代	その他の結核（右胸膜炎）	胸痛、呼吸困難
		都城	70歳代	肺結核	咳
			80歳代	肺結核及びその他の結核（結核性胸膜炎）	咳、痰
		延岡	70歳代	その他の結核（結核性胸膜炎）	呼吸困難
		日向	90歳代	肺結核	発熱
		中央	20歳代	無症状病原体保有者	—

■ 全国第9週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は37.7で、前週比87%と減少した。今週大きく増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は117,012人(23.7)で、前週比82%と減少した。新潟県(38.9)、秋田県(37.5)、埼玉県(36.7)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の30%、6歳から9歳が31%、10歳から14歳が18%、15歳から19歳が3%、20歳から59歳が14%、60歳以上が4%を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	388例				
3類感染症	細菌性赤痢	7例	腸管出血性大腸菌感染症	6例	パラチフス	1例
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	4例	デング熱	3例
	レジオネラ症	12例				
5類感染症	アメーバ赤痢	12例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	10例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	15例	梅毒	12例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	5例	麻しん	5例

■月報告対象疾患の発生動向 <2月>

□性感染症

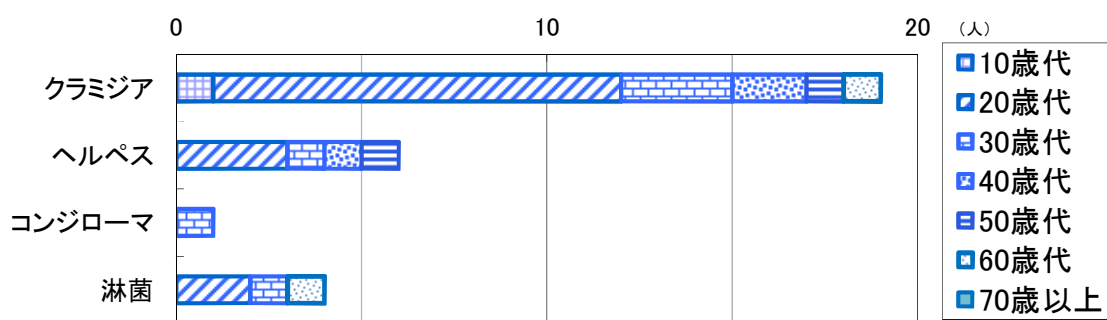
【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は30人（2.3）で、前月比91%と減少した。また、昨年2月（3.1）の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人（1.5）で、前月の約9割、前年の約7割であった。日向（3.0）、都城（2.5）保健所からの報告が多く、男性7人・女性12人で、20歳代が全体の約6割、30歳代が約2割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約8割、前年の約1.5倍であった。男性3人・女性3人で、20歳代が全体の半数を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前年の半数であった（前月は報告なし）。30歳代の男性であった。
- 淋菌感染症：報告数4人（0.31）で、前月の約1.3倍、前年の半数であった。全て男性で、20歳代が2人、30歳代・60歳代がそれぞれ1人であった。

年齢別性感染症報告数(2月)



【全国】 定点医療機関総数：966

定点医療機関からの報告総数は3,543人（3.7）で、前月比92%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,773人（1.8）で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症646人（0.67）で前月比91%、尖圭コンジローマ400人（0.41）で前月比93%、淋菌感染症724人（0.75）で前月比86%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で前月の約7割であった。また、昨年2月（3.0）と同程度であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人（2.6）で、前月の約8割、前年の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数3人（0.43）で、前月の約8割、前年の約6割であった。5歳未満が2人、70歳以上が1人であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

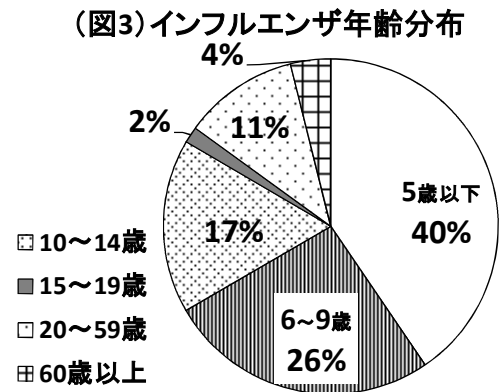
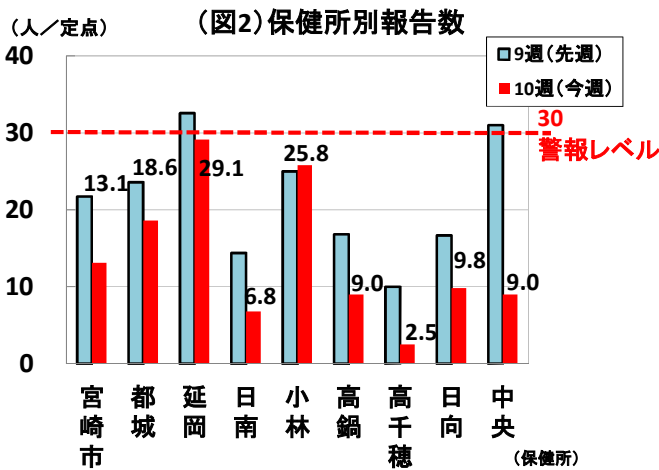
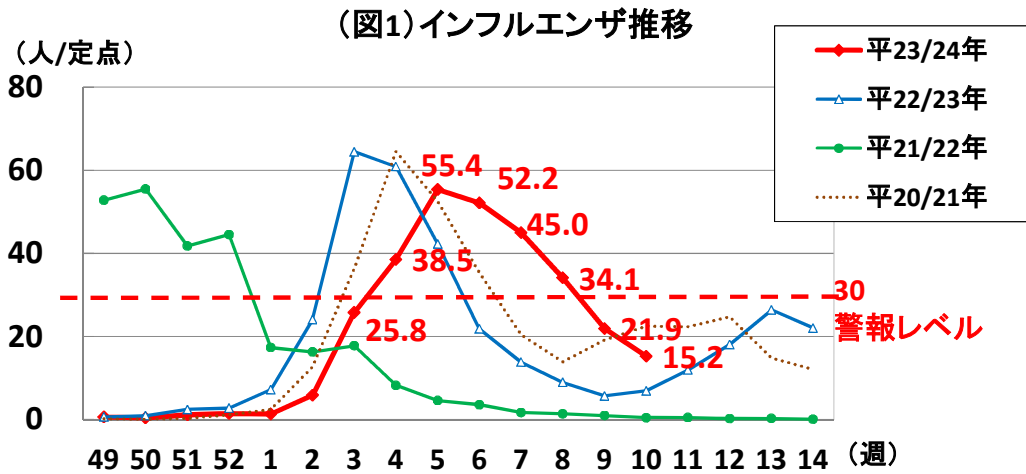
【全国】 定点医療機関総数：467

定点医療機関からの報告総数は2,292人（4.9）で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,955人（4.2）で前月比102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症296人（0.63）で前月比83%、薬剤耐性緑膿菌感染症39人（0.08）で前月比114%、薬剤耐性アシネトバクター感染症2人であった。

■ インフルエンザ情報《県内第10週、全国第9週（再掲）》

□ 県内10週インフルエンザ発生動向

平成24年3月5日～3月11日までの1週間で899人（定点あたり15.2）の報告があり、前週の約7割に減少した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（17.4）の約9割である。延岡（29.1）・小林（25.8）保健所からの報告が多い（図2）。年齢分布を（図3）に示す。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (10週)		1週前 (9週)		2週前 (8週)		3週前 (7週)		4週前 (6週)		5週前 (5週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	15.2	○	21.9	○	34.1	○	45.0	○	52.2	○	55.4	○
宮崎市	13.1	△	21.8	△	42.7	○	61.4	○	69.0	○	65.0	○
都城	18.6	△	23.6	△	43.9	○	59.3	○	60.0	○	77.4	○
延岡	29.1	△	32.6	○	25.1	△	31.4	○	55.7	○	50.9	○
日南	6.8	-	14.4	△	22.0	△	32.2	○	42.4	○	47.8	○
小林	25.8	△	25.0	△	39.0	○	39.4	○	55.4	○	66.4	○
高鍋	9.0	-	16.8	△	34.8	○	50.8	○	48.2	○	52.2	○
高千穂	2.5	-	10.0	△	9.0	-	5.5	-	11.0	△	24.0	△
日向	9.8	-	16.7	△	18.8	△	21.5	△	22.0	△	23.8	△
中央	9.0	-	31.0	○	35.5	○	28.0	△	25.5	△	21.5	△

* 警報終息基準値は定点当たり10.0となっています。

□ 全国第9週インフルエンザ発生動向

平成24年2月27日～3月4日までの1週間で117,012人（23.7）の報告があり、前週比82%と減少した。新潟県（38.9）、秋田県（37.5）、埼玉県（36.7）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の30%、6歳から9歳が31%、10歳から14歳が18%、15歳から19歳が3%、20歳から59歳が14%、60歳以上が4%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第10週(03月05日～03月11日)

疾病名		第9週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1292	899	210	186	204	34	129	54	5	59	18
	定点あたり	21.90	15.24	13.13	18.60	29.14	6.80	25.80	9.00	2.50	9.83	9.00
RSウイルス 感染症	報告数	32	34	5	5	3	2		2		16	1
	定点あたり	0.89	0.94	0.50	0.83	0.75	0.67	0.00	0.50	0.00	4.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	20	20		6	4	8				2	
	定点あたり	0.56	0.56	0.00	1.00	1.00	2.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	78	103	24	9	28	8	4	9		21	
	定点あたり	2.17	2.86	2.40	1.50	7.00	2.67	1.33	2.25	0.00	5.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	286	354	65	63	42	43	61	32	4	40	4
	定点あたり	7.94	9.83	6.50	10.50	10.50	14.33	20.33	8.00	4.00	10.00	4.00
水痘	報告数	143	120	31	29	15	13	12	10		9	1
	定点あたり	3.97	3.33	3.10	4.83	3.75	4.33	4.00	2.50	0.00	2.25	1.00
手足口病	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	2	5	2		2					1	
	定点あたり	0.06	0.14	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	24	34	12	4	8	3	2	2		2	1
	定点あたり	0.67	0.94	1.20	0.67	2.00	1.00	0.67	0.50	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2		1		1					
	定点あたり	0.03	0.06	0.00	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	39	52	7	12	1	6	2	13	1	1	9
	定点あたり	1.08	1.44	0.70	2.00	0.25	2.00	0.67	3.25	1.00	0.25	9.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	9	7	2							
	定点あたり	1.33	1.50	2.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1						1			
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～10週)

2類感染症	結核	49例(7)					
4類感染症	つつが虫病	12例					
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	5例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	
	後天性免疫不全症候群	1例					

()内は今週届出分、再掲